

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

事業名【新】スタートアップ支援コンソーシアム事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部産業イノベーション推進課 電話番号：058-272-1111(内3750)

スタートアップ推進室

E-mail：c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,530 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	2,530	0	0	0	0	0	0	0	2,530
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

経済が低迷し、人口減少・少子高齢化が本格化する中であっても、地域の活力を失うことなく持続可能な「清流の国ぎふ」づくりを進めるには、県の雇用・所得・財政を支える新たな産業の芽を生み出す必要がある。

令和5年度には産金官学等によるぎふスタートアップ支援コンソーシアムが立ち上がり、事務局が県産業経済振興センターに設置されることとなった。コンソーシアムの会費が無料であることから、センターによる事務局の運営には所要経費を支援する必要がある。

(2) 事業内容

産金官学等のスタートアップに関するネットワークを作るとともに、スタートアップに関する事業を実施するコンソーシアムの事務局を運営する。

コンソーシアムでは、以下の事務等を実施する。

○スタートアップコンソーシアムの運営

会員の入退会の手続きや会員間の情報発信、運営委員会やプライムスタートアップ審査委員会の開催など。

○スタートアップ交流会・セミナー

スタートアップ同士やスタートアップと支援機関がつながる場を設ける。その際は、講演を行う等集客及び育成にもつなげる。また、コンソーシアム会員向けのセミナーを開催し、機運の醸成や知識の向上を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内のスタートアップを支援し、新産業・新サービスの創出、新たな地域経済の担い手を創出することは県経済の振興につながるものであり、また、民間負担によるコンソーシアムの設置も考えられないため、県負担は妥当。

事務局である（公財）岐阜県産業経済振興センターに対し、補助率10/10で補助を行う。

(4) 類似事業の有無

なし

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	2,530	ぎふスタートアップ支援コンソーシアム運営に係る経費
合計	2,530	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

＜岐阜県経済・雇用再生戦略＞

「産学官、協創・協業企業と「（仮称）ぎふスタートアップ支援コンソーシアム」を設置し、スタートアップ支援のネットワークを強化する。」と明記

(2) 国・他県の状況

国は令和4年11月に「スタートアップ育成5か年計画」を決定し、人材・ネットワークの構築、資金供給の強化と出口戦略の多様化、オープンイノベーションの推進、の3本柱を推進している。

愛知県では平成30年4月に、大学、金融機関、民間企業、経済団体等関係機関の参画を得て、「Aichi-Startup推進ネットワーク会議」を発足し、「あいちスタートアップ・エコシステム」を推進している。

三重県も令和5年8月に金融機関・高等教育機関・経済団体・支援機関等の県内外の関係機関が一体となった支援体制「みえスタートアップ支援プラットフォーム」を設立し、スタートアップ支援の取組を推進している。

その他の県でも、スタートアップ同士がネットワークを作る場を設けているほか、学生を対象としたアントレプレナーシップ教育を実施し、起業家の育成と、起業の機運醸成を図っている。

(3) 後年度の財政負担

引き続き補助率10/10で補助を行う。

(4) 事業主体及びその妥当性

ぎふスタートアップ支援コンソーシアムの事務局は（一財）産業経済振興センターに設置されており、また、スタートアップ支援は、産業の活性化、雇用の創出など地域の活性化を促進するものであり、当該経費を支出することは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・定期的に会議を開催し、金融機関や大学、産業支援機関、県等が連携することで、より一体的で効果のあるスタートアップ支援の展開を図る。
- ・スタートアップ同士及びスタートアップと支援機関が出会える場を設けることにより、ネットワークを形成し成長を支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R5年度 実績	R6年度 目標	R7年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①プライム認定数	0	2	8	15	35	6%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和5年度	<p>ぎふスタートアップ支援コンソーシアムを設立。プライム認定の制度を作成・認定を行い支援を行った。</p> <p>指標① 目標：__3__ 実績：__2__ 達成率：__66__ %</p>
令和6年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：__ __ 実績：__ __ 達成率：__ __ %</p>
令和7年度	<p style="color: red;">令和7年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：__ __ 実績：__ __ 達成率：__ __ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

- 3:期待以上の成果あり
- 2:期待どおりの成果あり
- 1:期待どおりの成果が得られていない
- 0:ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

- 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

R5年度にコンソーシアムが設立され、事務局を県産業経済振興センターに置き、県と連携して事務を処理してきた。R6年度は円滑に事務局機能をセンターに引継ぎ、意思決定を早く行えるようにする。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課

【〇〇課】

組み合わせて実施する理由
や期待する効果 など